

- ◆ 風しん患者が急増!
- ◆ 腸管出血性大腸菌(0157) 感染症が発生

1. 全数報告感染症の発生状況

- 一類感染症: 報告なし
- 二類感染症: **結核 6 例** (肺結核 4 例, 結核性胸膜炎 1 例, 無症状病原体保有者 1 例)
- 三類感染症: **腸管出血性大腸菌感染症 1 例** (血清型・毒素型:0157・VT1VT2)
- 四類感染症: 報告なし
- 五類感染症: **風しん 8 例** (15~19 歳: 男性 1 例 女性 2 例、25~30 歳: 女性 1 例、35~40 歳: 男性 1 例, 女性 1 例、45~49 歳: 男性 3 例)

詳しい発生状況は「風しんの発生状況」を参照

2. 全数報告感染症の週別および累積報告数

滋賀県内の医療機関において、感染症法で定められている一~四類および五類感染症に該当する患者を診断した医師は、保健所に届出ることになっています。これらの届出のあった報告症例を診断された週毎に集計しています。なお、期日以降に届出があった場合は、再集計し、掲載しています。主な疾病を対象に各週の報告数および累積報告数を下の表に示しています。

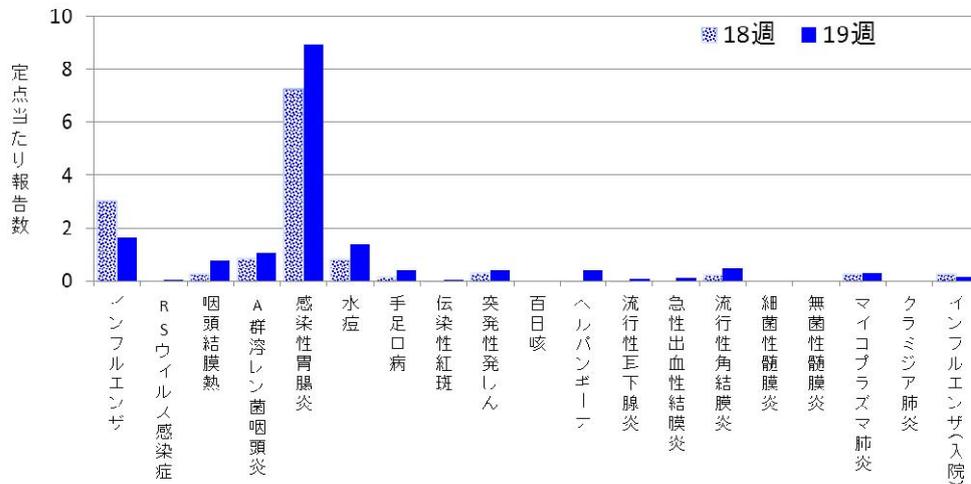
分類	疾病名	滋賀県				全国	平成24年累計※	
		17週	18週	19週	累計	累計		
		4/22~	4/29~	5/6~	~5/12	~5/12	県	全国
二類	結核	2	2	6	102	8,715	254	28,951
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	3
	細菌性赤痢	0	0	0	0	43	0	241
	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	1	3	253	37	3,765
	パラチフス	0	0	0	0	24	0	24
四類	E型肝炎	0	0	0	0	48	0	119
	A型肝炎	0	0	0	0	59	1	158
	オウム病	0	0	0	0	4	0	8
	つつが虫病	0	0	0	0	45	1	436
	デング熱	0	0	0	0	51	2	221
	マラリア	0	0	0	0	15	2	73
五類	レジオネラ症	0	0	0	1	232	10	898
	アメーバ赤痢	0	0	0	1	344	13	931
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0	87	4	235
	急性脳炎	1	0	0	3	159	3	361
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	1	59	2	183
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	74	3	243
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	7	485	9	1,427
	ジアルジア症	0	0	0	0	28	1	72
	侵襲性肺炎球菌感染症**	0	0	0	2	189	—	—
	梅毒	0	0	0	1	360	1	891
	破傷風	0	0	0	0	133	0	117
	風しん	2	4	8	37	6,725	12	2,391
	麻しん	0	0	0	0	124	1	285

※ : 感染症発生動向調査事業年報暫定数 (国立感染症研究所感染症情報センター 平成25年3月現在)
 ※※ : 平成25年4月1日から対象感染症として追加

3. 定点把握の対象となる五類感染症の発生状況

- 定点患者報告総数は、今週は525例（先週483）でした。
- 報告数の多い感染症は、感染性胃腸炎、インフルエンザ、水痘の順です。
- 高島保健所管内では、ヘルパンギーナの定点当たり報告数(5.50)が多くなっています。
- インフルエンザ入院サーベイランスは、1例（80歳以上・女性）の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の前週・今週の定点当たり報告数



警報および注意報の状況

- 警報：咽頭結膜熱（警報開始基準値3、終息基準値1） 高島保健所管内（定点当たり報告数8.50）
 急性出血性結膜炎（警報開始基準値1、終息基準値0.1） 甲賀保健所管内（定点当たり報告数1.00）
 注意報：水痘（注意報基準値4） 高島保健所管内（定点当たり報告数4.00）

4. 定点把握の対象となる五類感染症の保健所管内別の定点当たり報告数

感染症発生動向調査事業において、滋賀県が指定した定点医療機関（指定届出機関）から報告される感染症を定点把握対象感染症と呼びます。週単位(月曜日から日曜日)で報告される感染症について、滋賀県および管轄保健所別定点当たり報告数を下の表に示しています（定点当たり報告数＝報告数/定点医療機関数）。

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県		保健所別(19週 5/6～5/12)						
		18週	19週	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
インフルエンザ (53)	インフルエンザ	3.02	1.64	3.00	2.10	0.71	1.25	1.29	0.86	1.00
小児科 (32)	RSウイルス感染症	0	0.03	0	0	0	0	0.25	0	0
	咽頭結膜熱(プール熱)	0.28	0.78	0	0.83	0	0.60	0	0	8.50
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.88	1.06	1.57	0.67	0.75	2.00	0.25	0.75	1.00
	感染性胃腸炎	7.25	8.94	8.00	7.67	7.25	10.80	12.25	9.25	7.50
	水痘	0.84	1.38	1.29	0.67	2.25	1.00	1.50	0.75	4.00
	手足口病	0.19	0.38	0.14	0	0	0	0	2.00	1.50
	伝染性紅斑(リンゴ病)	0.09	0.03	0	0	0	0	0.25	0	0
	突発性発しん	0.34	0.38	0.57	0.17	1.00	0	0.50	0	0.50
	百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘルパンギーナ	0.03	0.41	0.14	0.17	0	0	0	0	5.50
流行性巨下腺炎(おたふくかぜ)	0.06	0.09	0	0.33	0.25	0	0	0	0	
眼科 (8)	急性出血性結膜炎	0	0.13	0	0	1.00	0	0	0	0
	流行性角結膜炎	0.25	0.50	0	3.00	0	1.00	0	0	0
基幹 (7)	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎	0.29	0.29	0	0	0	1.00	0	1.00	0
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	インフルエンザ(入院)*	0.29	0.14	1.00	0	0	0	0	0	0

*平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数(定点当たり報告数)を掲載

赤字： 警報レベルの基準値(開始基準値または終息基準値)を超過
紫字： 注意報レベルの基準値を超過

5. 風しんの発生状況

- 第19週は8例の報告があり、草津保健所管内(5例)の報告が増えています。
- 第1週から第19週までの累積報告数は**37例**となり、過去5年間で年間の累積報告数が最も多かった平成24年(12例)の3倍を超えています。
- 性別の発生状況は、男性が8割を占めています(男性30例、女性7例)。
- ワクチン接種歴については、接種歴が判明しているのは4例(2回1例、1回3例)で、接種歴無し11例および不明22例でした。
- 病型は、検査診断例が24例、臨床診断例が13例でした。

図1 年次別累積報告数

(平成20年第1週～平成25年第19週、H19.12.31～H25.5.12)

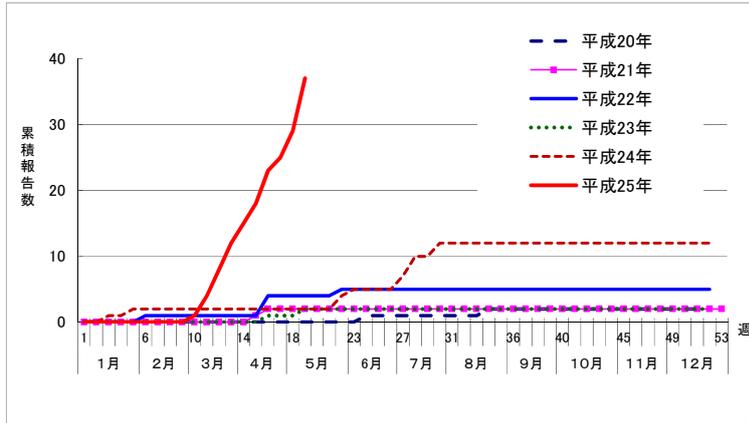


図2 年齢階級別の患者割合(滋賀県)

(平成25年第1週～第19週)

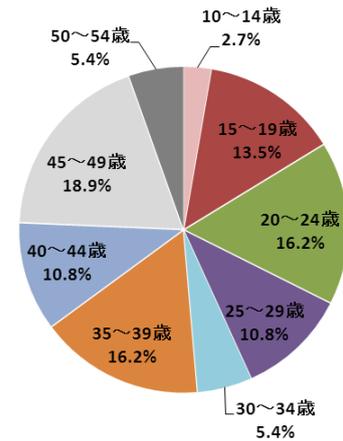


図3 週別・性別の報告数 (平成25年第1週～第19週、H24.12.31～H25.12)

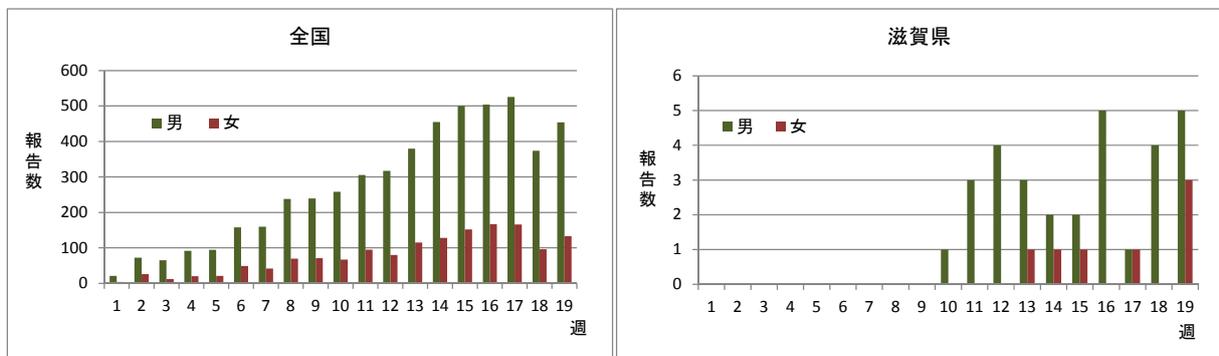
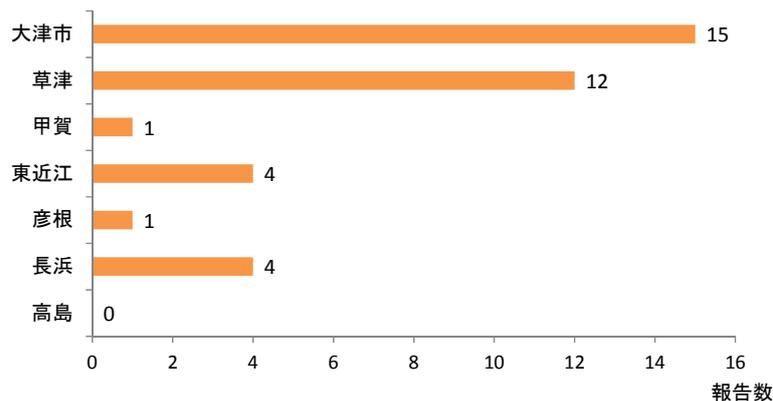
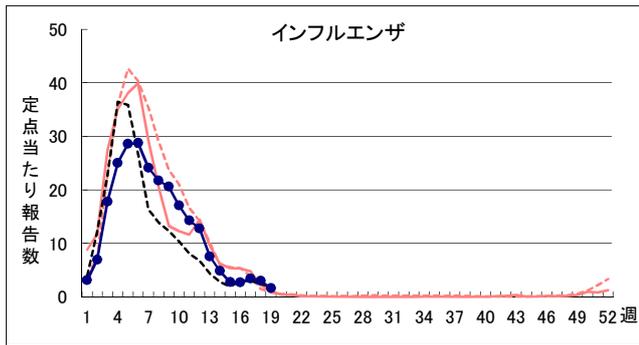


図4 保健所別の報告数 (平成25年第1週～第19週、H24.12.31～H25.5.12)

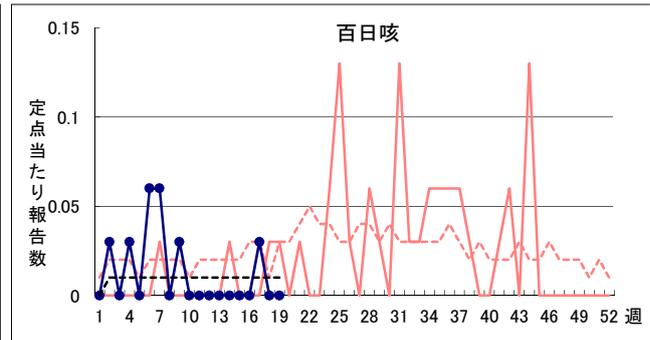
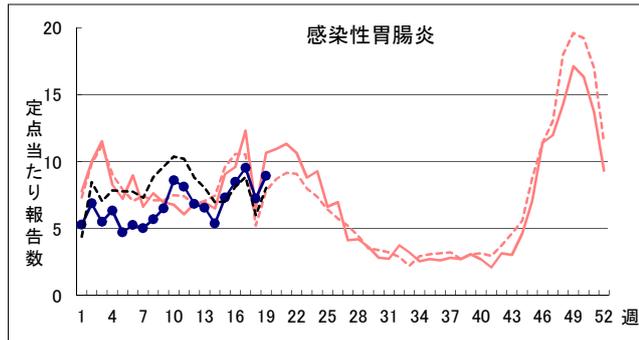
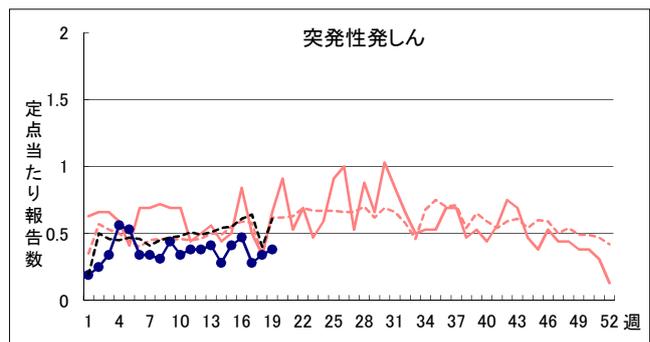
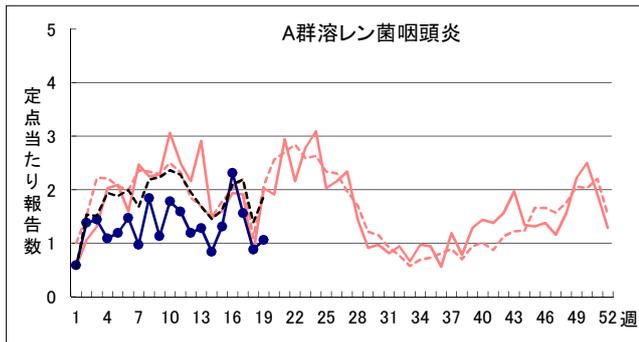
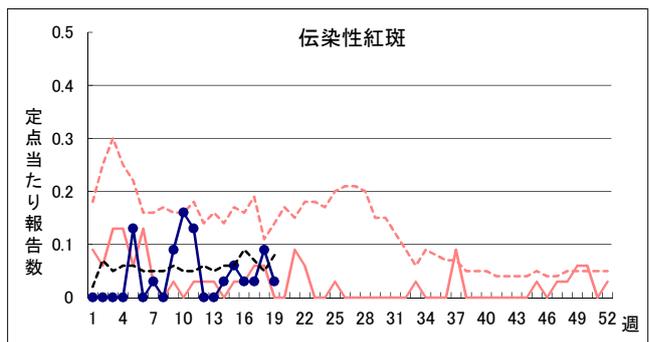
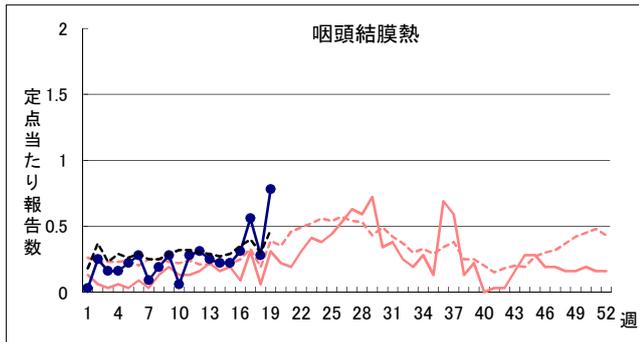
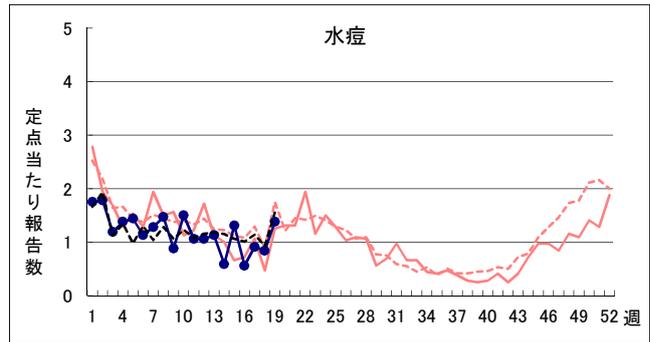
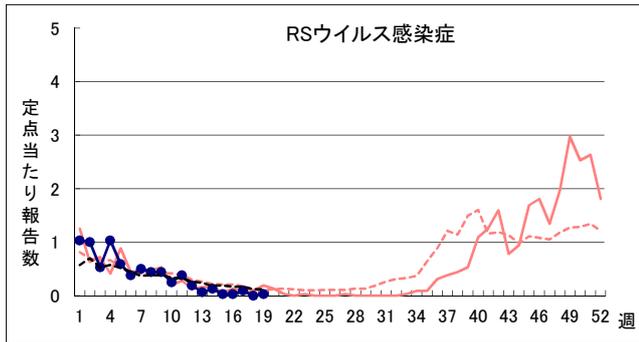


疾病別定点当たり報告数

(平成25年第19週、 H24.12.31～H25.5.12)



H24 [滋賀 ————
 全国
 H25 [滋賀 ●———
 全国



疾病別定点当たり報告数

(平成25年第19週、 H24.12.31～H25.5.12)

H24 [滋賀 ———— 全国] H25 [滋賀 ●●●●● 全国]

